



平成31年2月15日 第818号

一般財団法人日本遺族会 東京都千代田区七号 千代田一丁目三番三 九段南十丁目六番一 電話 03-3291-2539 定価 毎月1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰霊救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

平成31年度 事業計画まとまる 常務理事会等で審議検討

平成三十一年度日本遺族会の事業計画及び収支予算書について、一月二十九日開催の事務局長会議、女性部、青年部の両幹事会でそれぞれ意見を聴取、審議を経た後、同日三十日に開催した常務理事会において審議検討され、原案として取りまとめられた。これらは二月二十一日に開催する第十六回理事会の議案として上程される。

日本遺族会は、二月二十一日に立ち返り、世界の恒久平和を希求し続けなければならない」と述べた。理事等での審議を経て、平成三十一年度事業計画及び収支予算書の原案を固めた。



常務理事会で挨拶に立つ水落敬栄本会会長 = 1月30日、千代田会館で

「平成の御代は、多くの人々の努力の上に、平和な時代となった。来る新しい御代も必ずや平和な時代とすべく、先人に感謝の気持ちを忘れず、初心

業務局長会議は、二月二十九日開催され、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。事務局長会議では事務局長幹事会が報告し、女性部幹事会では支那女性部長の交代並びに女性部役員

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。



事務局長会で新役員決まる = 1月29日、千代田会館で



女性部、青年部幹事会で挨拶する水落会長 = 1月29日、千代田会館で

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。

業務局長協議会の役員改選 日本遺族会では一月二十八日業務局長幹事会、翌二十九日事務局長会、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。

国民に親しまれる施設として、さらに認知度を高めなければならない」としている。その他、海外等に散居する戦没者遺留品の返還に伴う調査事業については、厚生労働省の指導のもと、OBONソサエティと連携し、各支部遺族会の協力を得て、遺留品の持ち主または、その遺族の所在調査を実施し、遺留品の早期返還を図ることとした。

第二回 特別委員会 開催 一月三十日、第一回目の「今後の遺族会のあり方」をテーマとする特別委員会が開催された。

人事異動 大臣官房審議官(恩給担当) 相馬 清貴氏(一月二十八日付)

節分を前にこんな旬が目に入った。切口のそらふ埃口に手をすりすりと思っも過ぎると思っ

靖国神社 崇教奉賛会事務局 112-46 東京都千代田区九段北 三-1-1 電話 03(326)8143(直通) 受付時間 平日午前9時~午後5時

記念事業ご奉賛金 一口金五、〇〇〇円(四日でも可) 受納月から年間の崇教奉賛会正会員としてご待遇申し上げます。

ご奉賛のお願い 靖国神社では、御創立百五十年の節目を迎えた本年、次の三つの事業を実施いたしております。



靖国神社御創立 百五十年記念事業

南方四地域で調査

未送還遺骨の情報収集

JARRWC

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会（JARRWC）が海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、ビスマーク諸島、東部ニューギニア、ミヤンマー、マリアナ諸島の各地域の派遣に対し本会から一人が参加し、現地住民に事業を周知するとともに、遺骨情報の提供を呼びかけた。

ビスマーク諸島

ビスマーク諸島現地調査第五次派遣は、十一月二十四日から十二月九日の期間で実施され、パプアニューギニア・ブゲンビル島タロキナ地域を調査した。

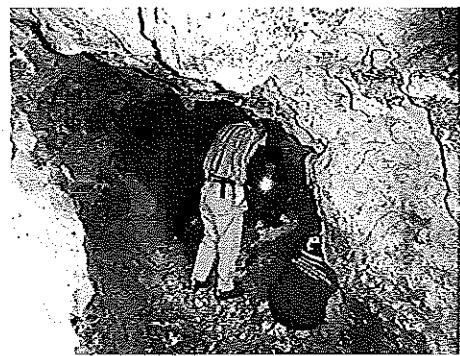
派遣団は、タロキナ地域ビク村に民泊し、現地協力者が収集した遺骨を日本から同行した遺骨鑑定人が鑑定し、受領した。また、民泊地から徒歩で山中に入り日本軍の行軍経路（アーミロード）を踏査し、遺骨が収集された場所等を確認した。

今回派遣団が受領した遺骨は推定二百柱で、ソフアノ島の遺骨保管場所に安置された。

東部ニューギニア現地調査第五次派遣は、十二月八日から二十日の期間で、パプアニューギニア・モロベ州を調査した。

派遣団はサラワケット山系のパワンで、現地住民の了解を得て、現地住民の埋葬地とされる場所を試掘したが遺骨の発見にはいたらなかった。また、現地在留邦人からの情報で訪問したバンドン村で

は、村人からの歓迎を受け、推定二柱の遺骨を遺留品とともに受領した。さらに、チャーター機でワスに入り、周辺村落の村長等を集めて、事業の所を二日間にわたり試掘したが、遺骨は発見されなかった。



スーサイドクリフの洞窟内を調査する団員
=1月22日、サイパン島で

なかった。

マリアナ諸島

マリアナ諸島第五次現地調査では、一月十一日から二十四日の期間で、サイパン島、テナン島を調査した。

派遣団は、昨年十一月北マリアナ諸島を直撃した台風「十号」の被害を受けた同島の遺骨発見場所の洞窟等を巡り、被害状況を調査した。また、サイパン島の歴史保存局（HPO）を訪問し、第三次派遣で保管をお願いしていた収容遺骨の状態が良好であることを確認したが、遺骨は発見されなかった。

北方領土返還全国大会

領土問題の早期解決を目指す

「北方領土の日」の二月七日、領土問題の早期解決を目指す、政府と民間団体が主催する「北方領土返還要求全国大会」が東京・国立劇場で開催された。

大会では元島民らが切なる思いを訴えて早期返還を求めた。

安倍晋三首相は「戦後七十三年以上経たされた課題の解決は容易ではない。しかしやり遂げなければならぬ」と決意を表明した。

「北方領土問題の早期解決について決意を表明する安倍晋三首相 = 2月7日、国立劇場で」

硫黄島で掘削調査実施

燃料不足等の影響で難作業

日本戦没者遺骨収集推進協会（JARRWC）は、防衛省が実施した地中探査レーダーにより反響があった箇所のうち、二次派遣は、十月十九日から二十七日の期間で実施され、サガイノ地方域々地区で調査した。

派遣団はタム地区行政府に協力を依頼し、ミンタム村、ミンタ村等を訪問して、現地住民から寄せ

第58回沖縄平和祈願

慰霊大行進のお知らせ

日本遺族会では、六月二十三日（沖縄県遺族連合会と共催で「第五十八回沖縄平和祈願大行進」を実施する。この事業は、先の大戦で、一般住民を含む多くの尊い命が失われた沖縄戦を振り返り、砲撃降りしる中、苦難の糧を余儀なくさ

れた戦没者が辿った道程を行進し、平和を祈願するものである。全戦没者の戦没者遺族が参加可能であり、家族での参加も歓迎する。特に孫・ひ孫等の青年部が多く参加され、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学び、語り継ぐ機会としてもら

たい。参加費等項は以下のとおり。

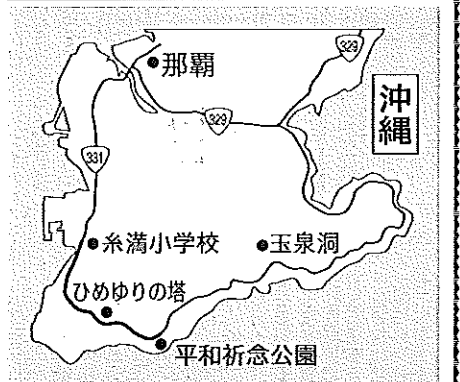
- ▼期間 六月二十三日（土）～二十四日（月）
- ▼費用 約二四万円
- ▼費用には宿泊代、食事代、バス借上げ代、派車費用、懇談会費用等が含まれる。

※参加人数により費用が異なります。また、自宅から沖縄の往復交通費、那覇空港から集合場所となる那覇市内のホテルまでの往復交通費は個人負担となりますので、各自お手配ください。

▼申込先 在任する各都道府県遺族会事務局へ

▼申込締切 五月中旬

なお、行進する過程は、糸満から慶文仁までの約八・五キロとなります。



第57回平和祈願慰霊大行進 = 平成30年6月23日



北方領土問題解決について決意を表明する安倍晋三首相 = 2月7日、国立劇場で

- ▼事務局長幹事会 1月28日、1月29日開催の事務局長会、付議する事項について。
- ▼事務局長会 1月29日
- ▼英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法②平成31年度事業計画及び収支予算書③青年部研修会の開催
- ▼事務局職員研修会の開催について。
- ▼常務理事会 1月30日
- ▼第16回理事会に付議する事項①本会の役員改選に関する基本方針について。
- ▼第2回「今後の遺族会を考える特別委員会」 1月30日、支部の実態調査を受けて、今後の検討課題の精査。
- ▼青年部幹事会 1月

日本遺族通信
年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰（遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝）、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部（孫・ひ孫）の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料 / 1,560円
(1年間 12回 税金・送料込)

お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行って来たところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集選考等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名は いずれも「一般財団法人日本遺族会：ザイ」ニホソクカイ

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

好事業 友善 慰親 31年度事業計画固まる

南方等17地域を実施予定

日本遺族会が、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の平成三十一年度の事業計画の概要がこのほど固まった。本年度は、数年前よりソロモン諸島のツラギ、フィリピンのアパリを訪問するほか、昨年(特定地域)のラシオを訪問する予定である。参加費は10万円。

慰霊友好親善事業には、参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行して募集要項は次のとおり。

▼時期及び地域 実施概要参照
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明

▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要する

▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要する

▼参加資格 戦没者の遺児。平成三十一年度参加者を除き、複数回の応募者の部除等)があれば

海上で花を手向ける

パシー海峡の亡き父を偲ぶ

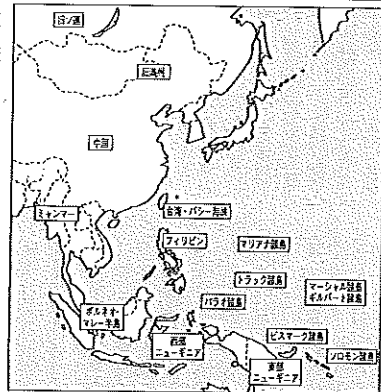
市来健之助本会副会長 間回は、一月十八日、全を团长とする台湾・パ 回十一都県の遺児代表十



海没された亡き父たちに花を手向ける団員 = 1月22日、パシー海峡海上で



「玉蘭荘」を訪問し車椅子を寄贈 = 1月24日、台北で



平成31年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要

実施地域		
実施地域	実施時期	募集人員
1 旧満州	平成31年8月上旬	40人
2 旧ソ連	平成31年8月下旬	40人
3 西部ニューギニア	平成31年9月上旬	40人
4 ソロモン諸島	平成31年9月下旬	20人
5 東部ニューギニア	平成31年10月上旬	42人
6 トラック・パラオ諸島	平成31年10月中旬	40人
7 ポルネオ・マレー半島	平成31年10月下旬	40人
8 フィリピン(1次)	平成31年11月上旬	120人
9 マリアナ諸島	平成31年11月下旬	40人
10 ミャンマー	平成31年12月中旬	60人
11 台湾・パシー海峡	平成32年2月上旬	30人
12 ビスマーク諸島	平成32年2月中旬	40人
13 マーシャル・ギルバート諸島	平成32年3月中旬	40人
14 フィリピン(2次)	平成32年3月中旬	120人
15 中国	平成32年3月下旬	80人

実施地域		
実施地域	実施時期	募集人員
1 西部ニューギニア	平成32年1月下旬	36人
2 東部ニューギニア	平成32年2月中旬	36人
3 ミャンマー	平成32年2月下旬	36人

集合し結団式を行い、靖 陸軍病院の宜蘭分院跡で 慰霊祭を行って亡き父を偲 び、身代わり参拝を行った。翌 日成田空港から台北へと 降り立ち、北東方面の宜 蘭に向かった。 二十日、宜蘭では台北

本会への 賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願い している本会への賛助 金につきましては、ご賛 同いただきまして、左記の 方々に對し、お礼申しあ げます。 大要恐縮ではござい ますが都道府県名に 久子、小山節子、原正秋、

品々を供えて亡き父に語 りかけ、冥福を祈った。 慰霊祭終了後、中型ボ ートを借り上げ、やや荒波 の中をパシー海峡方面へ 南下。沖合いの海上で船 と運命を共にした父上を はじめ、ご英霊に花やお 酒を手向けて想ろに申つ た。

二十三日、猫鼻頭(の 海峡)で海没された英霊を 弔うため建立された潮音 寺で、全戦没者追悼式を 挙行し戦没された方々の 霊魂安かれ祈った。 同日訪問団は台北へと 戻り、日本と台湾の架け 橋となっている日本台湾 交流協会台北事務所の 藤岡正高、高浪吉子、河 村正一、田中啓、各務 洋子、ヨシハタキオ等以 上、一月一日から一月末 日まで) 皆様からいただきました。 誠にありがとうございました。

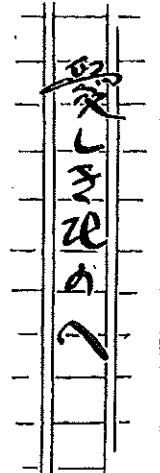
本会事業参加者の皆様へ、 本会の事業に参加するに当たり、得た個人 情報は「個人情報保護法」の定めにより、厳 重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方 針につきましてはホームページを参照され るか、本会にお問い合わせください。

開館20周年迎える 様々な記念事業を実施

昭和館

東京都の九段下にある昭和館では、今年の三月で開館二十周年を迎えることから記念事業として企画展等が実施される。二月二十一日からの「天皇陛下御即位三十周年祝賀展・映像紹介」、三月には特別企画展「日本のオリンピック・パラリンピック大会を支えた人々」と写真展「昭和に出会う旅」四十七都道府県をめぐって」が開催される。

昭和館では、今年のことから、年間を通してイベントが実施される。月で開館二十周年を迎えて記念事業の様々な企画。今上陛下におかれては



遺書

陸軍上等兵 有馬 英治

昭和十九年七月十八日
マリアナ群島にて戦死
和歌山県和歌山市橋町出身 三十七歳

家事に関しては、もはや指示する事は無い。再三指示せる如く無埋せず生活せよ。お前の両親には自分にかわつて十分孝養を盡せ。

(中略)
たとへ今後いかなる事が有らうとも決して驚かず、只一途に子供の生長を樂しみに生計を立てよ。子供の親として又、夫として及ばず自ら責任を盡せる今日、何事も心残りはない。あとは二世を契りし、お前に送つてを頼む。勇躍國難の為、妻子を顧みず一途南方に向かう。

(中略)
いかなる運命に有るとも又、万一の事が有り國家の為に死するとも父は夫は、お前たち親子の幸福を祈り、身辺を譲り居る事を決して忘れぬ。

では身体を大切に患かな父も子供を思へば、涙一滴静かにおとす。再び願ふ子供のことを。

英治より

ツネ子へ
〔原文のまま〕
〔平成三十一年二月靖国神社社頭掲示〕
愛しきものへ

先駆け、三月十七日から五月六日まで「日本のオリンピック・パラリンピック大会を支えた人々」と題した特別企画展が開催される。昭和十五年に予定されていたが幻となった東京でのオリンピック大会、昭和三十一年にアジアで初めて開催されたオリンピック東京大会、その終了後に開催されたパラリンピック東京大会などについて、誘致や開催に尽力した人々の軌跡を中心に紹介される。

本年一月七日、御在位三十年を迎えられた。昭和館では、内閣に設置された「天皇陛下の御即位に伴う式典準備委員会」の基本方針に従い、「天皇陛下御在位三十年祝賀展・映像紹介」を二月二十一日〜二十三日まで開催する運びとなった。また、来たる二〇二〇年、東京で二度目となるオリンピック・パラリンピックが開催されるのに



選者 安元 百香子
富田市 藤田 勝由
石川市 藤田 芳広
松尾市 藤田 芳広
高橋市 藤田 芳広
中野市 藤田 芳広
中野市 藤田 芳広

あまたなる兵の戦死とあんなの島は青々海によこたふ
いく万の恨みを呑みしき海は切切に進む
夜なべすの手を止め母は影を写せばだり父復員か
と
運送したら返す約束一町歩も歩かず父は原
「梅心歸」たしかに在りたり今はかく種やかなる地に
父は来てし
在りし日の母と語でし語園へ父想ひつて九段のぼる
一宮市 高橋 園子
わがうらに影を置きつて八十歳戦死の父に守られて生

青葉集 田中 恭子

特別企画展を開催
徳島県戦没者記念館で
徳島県遺族会が運営している徳島県戦没者記念館で特別企画展と語り部事業を開催した。
一月六日から二十日まで、慰霊及好親善事業に参加された県内外の遺児の方々に提供頂いた写真・パネル、父上に宛てた追悼文、遺品、遺書などを展示する第七回特別展を開催する。改題して戦争を起し

特別企画展を開催
徳島県戦没者記念館で
徳島県遺族会が運営している徳島県戦没者記念館で特別企画展と語り部事業を開催した。
一月六日から二十日まで、慰霊及好親善事業に参加された県内外の遺児の方々に提供頂いた写真・パネル、父上に宛てた追悼文、遺品、遺書などを展示する第七回特別展を開催する。改題して戦争を起し

新聞にはか南の土地の名を見つけて父を恋ふる娘も
好物の柿を供へ重服の父の遺影を見つめ合う朝
甲州市 尾茂田夏江
甲州市 数野 星子
甲州市 三森 一雄
私前に一座の台風のり越えし皇帝グリア供えて想う
旧暦の誕生日の記者会見で天皇陛下は「平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに安堵しているとお述べになりました。戦争を経験した者にとってひととお話に込める大御心でした。
制定を失った日本は物質の輸送ができなくなり、多くの遺族が戦死という悲惨な結果になりました。
国の為死は恐れざるものなの戦死と聞けば涙が流る。
特攻隊になりて勇み七右衛門の戦死の無念を我は忘れず (歌集「櫻の林」より 安元英治氏)

戦跡巡拝・慰霊の旅
JTBにご相談下さい。
海外参観・思い出の会・追悼集会などのご計画をお手伝い致します。
お一人様から団体旅行まで、皆様の旅をアレンジ致します。

過去の取扱方面
◆フィリピン
◆中国・旧満州
◆トラック・パラオ諸島
◆ミャンマー
◆パプアニューギニア
◆ソロモン諸島
◆旧ソ連 他

株式会社 JTB
虎ノ門第四事業部
〒100-6051 東京都千代田区豊が園3-2-5
豊が園ビルディング23階
TEL:03(6737)9324
FAX:03(6737)9328
営業時間:月~金曜/9:30~17:30
(土・日曜・祝日・振替及び12/30~1/3休業)
担当:川邊 安行(かわなべ やすゆき)